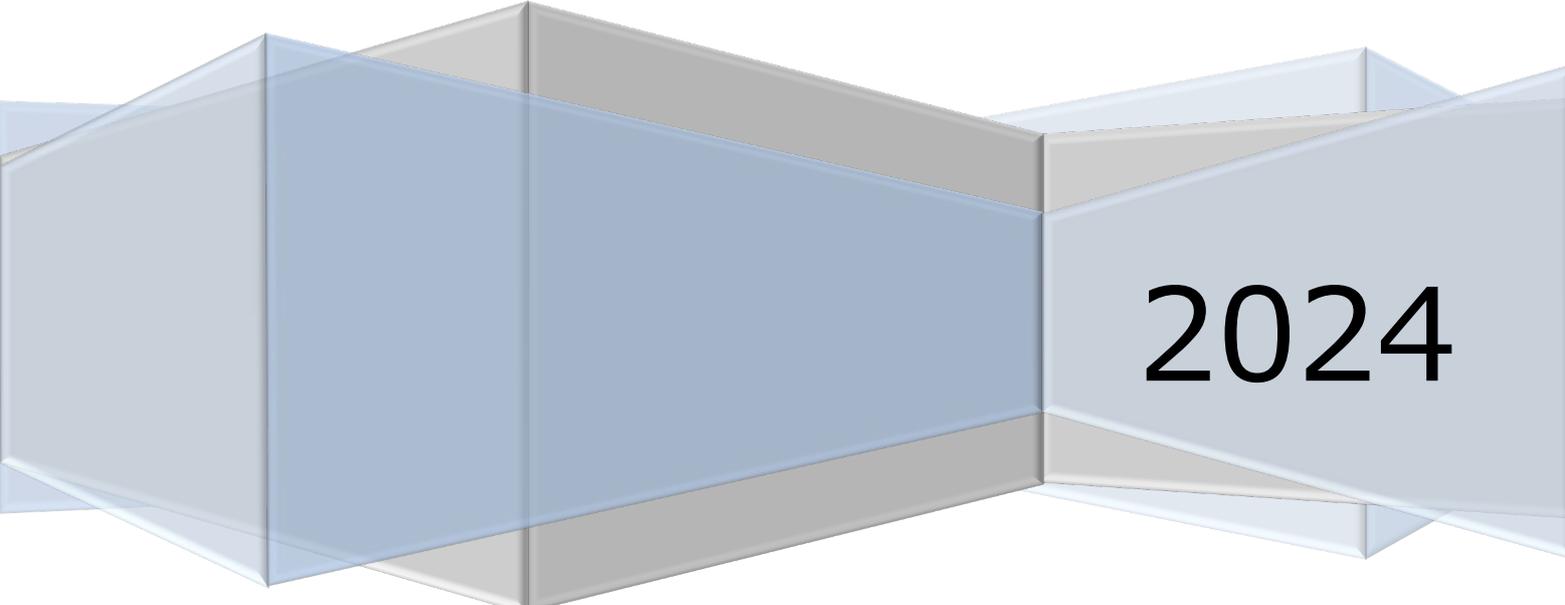


東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養セミナー I －

2 年生



2024

目次

2024年度 教養セミナー I	1
教養セミナー I	2
教養セミナー I (A グループ)	5
教養セミナー I (B グループ)	9
教養セミナー I (C グループ)	13
教養セミナー I (D グループ)	16
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	19

2024年度 教養セミナー I

1.教員担当クラス											
教室番号	共用セミナー室1	共用セミナー室2	共用セミナー室3	共用セミナー室4	共用セミナー室5	共用セミナー室6	共用セミナー室7	共用セミナー室10	共用セミナー室11	共用セミナー室12	
Aグループ	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)	
Bグループ	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)	
Cグループ	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)	
Dグループ	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)	
※共用セミナー室1…24階 共用セミナー室2・3…23階 共用セミナー室4…22階 共用セミナー室5・6…15階 共用セミナー室7…14階 共用セミナー室10…8階 共用セミナー室11・12…6階(使用する共用セミナー室はすべてMDタワー内)											
2.カレンダー											
前期 水曜日4講 (15:25-17:05)	第1回セミナー	第2回セミナー	第3回セミナー	第4回セミナー	予備日						
Aグループ	クラス1-10	4月3日	5月1日	5月29日	6月26日	7月24日					
Bグループ	クラス11-20	4月10日	5月8日	6月5日	7月3日						
Cグループ	クラス21-30	4月17日	5月15日	6月12日	7月10日						
Dグループ	クラス31-40	4月24日	5月22日	6月19日	7月17日						
後期 水曜日4講 (15:25-17:05)	第5回セミナー	第6回セミナー	第7回セミナー	予備日	第8回：発表会						
Aグループ	クラス1-10	9月18日	10月16日	11月13日	12月11日						
Bグループ	クラス11-20	9月25日	10月23日	11月20日							
Cグループ	クラス21-30	10月2日	10月30日	11月27日							
Dグループ	クラス31-40	10月9日	11月6日	12月4日							
※授業はすべて対面形式で実施されます ※第8回の発表会は各グループを2つに分けて実施します											
3.一覧											
		共用セミナー室1	共用セミナー室2	共用セミナー室3	共用セミナー室4	共用セミナー室5	共用セミナー室6	共用セミナー室7	共用セミナー室10	共用セミナー室11	共用セミナー室12
第1回 イントロ	4月3日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	4月10日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
第2回 セミナー	4月17日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	4月24日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	5月1日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	5月8日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
第3回 セミナー	5月15日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	5月22日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	5月29日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	6月5日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
第4回 セミナー	6月12日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	6月19日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	6月26日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	7月3日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
予備日	7月10日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	7月17日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	7月24日	予備日									
夏季休暇											
第5回 セミナー	9月18日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	9月25日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
	10月2日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
第6回 セミナー	10月9日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	10月16日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	10月23日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
第7回 セミナー	10月30日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	11月6日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
	11月13日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
予備日	11月20日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
	11月27日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	12月4日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)
第8回 発表会	12月11日	予備日									
	12月18日	クラス1(藤井)	クラス2(越野)	クラス3(奈良)	クラス4(徳永)	クラス5(包)	クラス6(松本)	クラス7(中山)	クラス8(辻)	クラス9(畔柳)	クラス10(鶴田)
	1月8日	クラス11(鶴田)	クラス12(藤井)	クラス13(栗田)	クラス14(檜枝)	クラス15(猪熊)	クラス16(柳下)	クラス17(澤野)	クラス18(徳永)	クラス19(木谷)	クラス20(中川)
発表会	1月15日	クラス21(中林)	クラス22(奈良)	クラス23(藤又)	クラス24(猪熊)	クラス25(藤井)	クラス26(澤野)	クラス27(檜枝)	クラス28(栗田)	クラス29(辻)	クラス30(中山)
	1月22日	クラス31(奈良)	クラス32(柳下)	クラス33(中林)	クラス34(中山)	クラス35(木谷)	クラス36(松本)	クラス37(畔柳)	クラス38(包)	クラス39(藤又)	クラス40(越野)

時間割番号	00470				
科目名	教養セミナー I	科目 ID			
担当教員	藤井 達夫, 檜枝 光憲, 猪熊 恵子, 畔柳 和代, 奈良 雅之, 木谷 真紀子, 柳下 和慶, 栗田 武, BAO MIN, 中林 潤, 中山 まどか, 松本 幸久, 辻 泰明, 徳永 伸一, 澤野 頼子, 越野 和樹, 中川 美奈, 鶴田 潤[FUJII Tatsuo, HIEDA MITSUNORI, INOKUMA KEIKO, KUROYANAGI KAZUYO, NARA MASAYUKI, KITANI Makiko, YAGISHITA KAZUYOSHI, KURITA TAKESHI, BAO Min, NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka, MATSUMOTO YUKIHISA, TSUJI Yasuaki, TOKUNAGA SHINICHI, SAWANO YORIKO, KOSHINO KAZUKI, NAKAGAWA MINA, TSURUTA JIYUN]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>教養セミナー I は、専門課程の 2 年次に学科専攻混成の少人数セミナーで実施されます。この授業の目的は、教養部の教育目標のうち、1.市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性、2.科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力、3.国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力という「3 つの力」を陶冶することにあります。そうすることで、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性を涵養し、自己問題提起・自己問題解決型の創造力豊かな人間、さらには国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成するという本学が掲げる教育理念の実現に寄与することが目指されます。</p> <p>これに向けて、教養セミナー I では、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)をテーマとして取り上げます。ELSI とは、新しい科学技術が倫理観や法制度、そして社会にもたらす課題や影響を意味します。受講生の皆さんには、「高度に発達した科学技術は私たちにどんな課題を与えているのか」、そして「その課題に対してどう向き合うのか」という現代を生きるすべての人びとに投げかけられている問いについて、しかも正解はなく、時に対立を招きかねない問いについて取り組んでもらいます。その取り組みでは、少人数セミナーにおいて ELSI をめぐる問題を自分たちで発見し、複数の視座から議論し、「科学的な」見地から独自の調査をしてもらいます。そして、そこから協働して解決策を模索します。</p> <p>ELSI をテーマにしたこのセミナーは、「輪読」、プレゼンテーションとディスカッション、さらにリサーチといったコミュニケーション主体のグループワークをとおして進められ、クラスごとにセミナーの成果を発表することで完結します。「輪読」とは、共通のテキストを全員で読み、意見を交わしながら理解を深めていく作業を意味します。そこでは、発表者が決められた範囲の内容を報告し、さらに、その内容に関して話し合いたい議題を提起します。発表者以外の受講生は、自分が読んで分らなかったことや発表者の報告に関して疑問に思ったことを質問したり、議題について自分の考えを述べたりします。</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>今年度取り上げる共通テキストは、ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons—21 世紀の人類のための 21 の思考』です。これは「人新世 Anthropocene」と呼ばれる現在の世界で、ELSI がどのように議論されているかを知る上で格好のテキストです。とはいえ、それはセミナーにおけるグループワークのためのたたき台に過ぎません。このテキストの輪読からスタートして、チューターとして参加する担当教員の専門を活かしたサポートを受けることで、受講生の皆さんには、ELSI についてさらに掘り下げて検討することが期待されます。</p> <p>教養セミナー I での議論やリサーチをさらに発展させて、3 年次の教養セミナー II で、各受講生が「教養卒業論文」を作成することになります。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ELSI とは何かを理解した上で、既存の科学技術の実例を挙げて、その倫理的・法的・社会的な問題を抽出できる ・信頼できる情報源から獲得した知識やデータを多角的な視点から適切に活用し、論理的に考えることで、ELSI についての自分の意見を形成できる ・テキストを正確に読み、分かりやすい発表ができ、さらに、ディスカッションのための問題提起ができる ・ディスカッションやリサーチなどのグループワークに積極的に参加できる ・様々な国や地域の歴史や文化を反映した多様な意見に配慮しつつ、ELSI についての解決策を具体的かつわかりやすい形でグループ発表できる ・レポートなどの課題を期限内に提出できる 					
<p>授業内容</p> <p>第 1 回 イントロダクション</p>					

<p>次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート①(発表の担当者以外)</p> <p>第 2 回 輪読(1)</p> <p>次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート②(発表の担当者以外)</p> <p>第 3 回 輪読(2)</p> <p>次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート③(発表の担当者以外)</p> <p>第 4 回 輪読(3)</p> <p>まとめの課題・・・前期まとめレポート(全員)</p> <p>(夏休み)</p> <p>第 5 回 発表のためのテーマ決め</p> <p>次回への課題・・・小レポート④(全員)</p> <p>第 6 回 テーマに関するリサーチ結果の発表</p> <p>次回への課題・・・小レポート⑤(全員)</p> <p>第 7 回 発表用のスライドの準備</p> <p>次回への課題・・・小レポート⑥(全員)</p> <p>第 8 回 発表会</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>(1)小レポートの内容</p> <p>(2)前期まとめレポートの内容</p> <p>(3)積極的な授業参加・・・授業内での発言の回数と質を「積極度」を測る目安として、全 8 回で総合的に評価する</p> <p>(4)輪読における個人の発表</p> <p>(5)グループの発表</p> <p>(6)発表会での発表グループへの質問・・・1 回でも質問すれば加点</p> <p>(7)出席点×8 回・・・※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など 追加の課題が課せられる ※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p> <p>※60 点未満および 100 点を超える学生については、教養セミナー運営ミーティングにおいて得点調整を行う場合がある</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>(1)小レポートの内容</p> <p>(2)前期まとめレポートの内容</p> <p>(3)積極的な授業参加・・・授業内での発言の回数と質を「積極度」を測る目安として、全 8 回で総合的に評価する</p> <p>(4)輪読における個人の発表</p> <p>(5)グループの発表</p> <p>(6)発表会での発表グループへの質問・・・1 回でも質問すれば加点</p> <p>(7)出席点(5 点)×8 回</p> <p>※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など追加の課題が課せられる</p> <p>※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p> <p>※60 点未満および 100 点を超える学生については、教養セミナー運営ミーティングにおいて得点調整を行う場合がある</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>
<p>教科書</p> <p>21 Lessons : 21 世紀の人類のための 21 の思考 / Harari, Yuval N., 1976-, 柴田, 裕之, 1959-, ユヴァル・ノア・ハラリ 著, 柴田 裕之 訳: 河出書房新社, 2021.11</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp</p> <p>中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp</p> <p>澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp</p>

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp
徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp
柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp
猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp
松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp
木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp
檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

中林 潤:月曜～金曜

A.M.10:00 - P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

徳永 伸一:前期:

火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

*いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。

柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

猪熊 恵子:水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階

※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

檜枝 光憲:毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00

管理研究棟 2 階

越野 和樹:毎週火曜日 12:30—13:00 ヒポクラテス 4 階

中山 まどか:前期:火 12:20～13:00

後期:木 12:20～13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004701		
科目名	教養セミナー I (A グループ)	科目 ID	
担当教員	藤井 達夫, 松本 幸久, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか, 辻 泰明, 畔柳 和代, 鶴田 潤, BAO MIN[FUJII Tatsuo, MATSUMOTO YUKIHISA, KOSHINO KAZUKI, NARA MASAYUKI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAYAMA Madoka, TSUJI Yasuaki, KUROYANAGI KAZUYO, TSURUTA JIYUN, BAO Min]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
<p>教養セミナー I は、専門課程の 2 年次に学科専攻混成の少人数セミナーで実施されます。指定されたテキストの輪読とグループワークによって ELSI について学びます。</p> <p>【コンピテンシー】</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p> <p>4-4) 情報についての基本技能を身につける</p> <p>5-1) ELSI を認知し、その重要性を理解する</p> <p>5-2) ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は、教養部の教育目標のうち、1.市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性、2.科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力、3.国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力という「3 つの力」を陶冶することにあります。そうすることで、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性を涵養し、自己問題提起・自己問題解決型の創造力豊かな人間、さらには国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成するという本学が掲げる教育理念の実現に寄与することが目指されます。</p> <p>これに向けて、教養セミナー I では、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)をテーマとして取り上げます。ELSI とは、新しい科学技術が倫理観や法制度、そして社会にもたらす課題や影響を意味します。受講生の皆さんには、「高度に発達した科学技術は私たちにどんな課題を与えているのか」、そして「その課題に対してどう向き合うのか」という現代を生きるすべての人びとに投げかけられている問いについて、しかも正解はなく、時に対立を招きかねない問いについて取り組んでもらいます。その取り組みでは、少人数セミナーにおいて ELSI をめぐる問題を自分たちで発見し、複数の視座から議論し、「科学的な」見地から独自の調査をしてもらいます。そして、そこから協働して解決策を模索します。</p> <p>ELSI をテーマにしたこのセミナーは、「輪読」、プレゼンテーションとディスカッション、さらにリサーチといったコミュニケーション主体のグループワークをとおして進められ、クラスごとにセミナーの成果を発表することで完結します。「輪読」とは、共通のテキストを全員で読み、意見を交わしながら理解を深めていく作業を意味します。そこでは、発表者が決められた範囲の内容を報告し、さらに、その内容に関して話し合いたい議題を提起します。発表者以外の受講生は、自分が読んで分からなかったことや発表者の報告に関して疑問に思ったことを質問したり、議題について自分の考えを述べたりします。</p> <p>今年度取り上げる共通テキストは、ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons—21 世紀の人類のための 21 の思考』です。これは「人新世 Anthropocene」と呼ばれる現在の世界で、ELSI がどのように議論されているかを知る上で格好のテキストです。とはいえ、それはセミナーにおけるグループワークのためのたたき台に過ぎません。このテキストの輪読からスタートして、チューターとして参加する担当教員の専門を活かしたサポートを受けることで、受講生の皆さんには、ELSI についてさらに掘り下げて検討することが期待されます。</p> <p>教養セミナー I での議論やリサーチをさらに発展させて、3 年次の教養セミナー II では、各受講生が「教養卒業論文」を作成することになります。</p>			
授業の到達目標			

- ・ELSI とは何かを理解した上で、既存の科学技術の実例を挙げて、その倫理的・法的・社会的な問題を抽出できる
- ・信頼できる情報源から獲得した知識やデータを多角的な視点から適切に活用し、論理的に考えることで、ELSI についての自分の意見を形成できる
- ・テキストを正確に読み、分かりやすい発表ができ、さらに、ディスカッションのための問題提起ができる
- ・ディスカッションやリサーチなどのグループワークに積極的に参加できる
- ・様々な国や地域の歴史や文化を反映した多様な意見に配慮しつつ、ELSI についての解決策を具体的かつわかりやすい形でグループ発表できる
- ・レポートなどの課題を期日内に提出できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/3	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
3-4	5/1	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
5-6	5/29	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
7-8	6/26	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
9-10	9/18	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
11-12	10/16	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
13-14	11/13	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか
15-16	12/11	15:25-17:05		檜枝 光憲, 越野 和樹, 奈良 雅之, 徳永 伸一, 中山 まどか

授業方法

- ・テキストの輪読
- ・ELSI をテーマとするグループワーク
- ・グループワークの成果の発表

授業内容

第 1 回 イントロダクション

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート①(発表の担当者以外)

第 2 回 輪読(1)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート②(発表の担当者以外)

第 3 回 輪読(2)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート③(発表の担当者以外)

第 4 回 輪読(3)

まとめの課題・・・前期まとめレポート(全員)

第 5 回 発表のためのテーマ決め

次回への課題・・・小レポート④(全員)

第 6 回 テーマに関するリサーチ結果の発表

次回への課題・・・小レポート⑤(全員)

第 7 回 発表用のスライドの準備

次回への課題・・・小レポート⑥(全員)

第 8 回 発表会

成績評価の方法

- (1)小レポートの内容
- (2)前期まとめレポートの内容

<p>(3)積極的な授業参加 (4)輪読における個人の発表 (5)グループの発表 (6)発表会への積極的な参加(発表グループへの質問など) ※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など 追加の課題が課せられる ※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p>
<p>成績評価の基準 到達目標の達成度合いによる</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪読における発表の準備をすること ・指定されたテキストの範囲を読んでおくこと ・グループワークで出されたタスクを実施すること ・発表会に向けた準備をすること
<p>教科書 21 Lessons : 21 世紀の人類のための 21 の思考 / Harari, Yuval N., 1976-, 柴田, 裕之, 1959-, ユヴァル・ノア・ハラリ 著, 柴田 裕之 訳: 河出書房新社, 2021.11</p>
<p>他科目との関連 教養基礎セミナー、教養セミナー II</p>
<p>履修上の注意事項 担当教員との意思疎通をしっかりと行うこと</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp 鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp 辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp 越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp 中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階) 徳永 伸一:前期: 火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで)、毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階 畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室 鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。</p>

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

BAO MIN:水曜日 12:30~13:00 管理研究棟 3 階 研究室

辻 泰明:前期:金 14:30~15:00 後期:水 12:30~13:00

管理研究棟 2 階

越野 和樹:毎週火曜日 12:30--13:00 ヒポクラテス 4 階

中山 まどか:前期:火 12:20~13:00

後期:木 12:20~13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004702		
科目名	教養セミナー I (B グループ)	科目 ID	
担当教員	藤井 達夫, 鶴田 潤, 柳下 和慶, 栗田 武, 檜枝 光憲, 猪熊 恵子, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 木谷 真紀子, 中川 美奈[FUJII Tatsuo, TSURUTA JIYUN, YAGISHITA KAZUYOSHI, KURITA TAKESHI, HIEDA MITSUNORI, INOKUMA KEIKO, SAWANO YORIKO, TOKUNAGA SHINICHI, KITANI Makiko, NAKAGAWA MINA]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
<p>教養セミナー I は、専門課程の 2 年次に学科専攻混成の少人数セミナーで実施されます。指定されたテキストの輪読とグループワークによって ELSI について学びます。</p> <p>【コンピテンシー】</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p> <p>4-4) 情報についての基本技能を身につける</p> <p>5-1) ELSI を認知し、その重要性を理解する</p> <p>5-2) ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は、教養部の教育目標のうち、1.市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性、2.科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力、3.国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力という「3 つの力」を陶冶することにあります。そうすることで、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性を涵養し、自己問題提起・自己問題解決型の創造力豊かな人間、さらには国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成するという本学が掲げる教育理念の実現に寄与することが目指されます。</p> <p>これに向けて、教養セミナー I では、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)をテーマとして取り上げます。ELSI とは、新しい科学技術が倫理観や法制度、そして社会にもたらす課題や影響を意味します。受講生の皆さんには、「高度に発達した科学技術は私たちにどんな課題を与えているのか」、そして「その課題に対してどう向き合うのか」という現代を生きるすべての人びとに投げかけられている問いについて、しかも正解はなく、時に対立を招きかねない問いについて取り組んでもらいます。その取り組みでは、少人数セミナーにおいて ELSI をめぐる問題を自分たちで発見し、複数の視座から議論し、「科学的な」見地から独自の調査をしてもらいます。そして、そこから協働して解決策を模索します。</p> <p>ELSI をテーマにしたこのセミナーは、「輪読」、プレゼンテーションとディスカッション、さらにリサーチといったコミュニケーション主体のグループワークをとおして進められ、クラスごとにセミナーの成果を発表することで完結します。「輪読」とは、共通のテキストを全員で読み、意見を交わしながら理解を深めていく作業を意味します。そこでは、発表者が決められた範囲の内容を報告し、さらに、その内容に関して話し合いたい議題を提起します。発表者以外の受講生は、自分が読んで分からなかったことや発表者の報告に関して疑問に思ったことを質問したり、議題について自分の考えを述べたりします。</p> <p>今年度取り上げる共通テキストは、ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons—21 世紀の人類のための 21 の思考』です。これは「人新世 Anthropocene」と呼ばれる現在の世界で、ELSI がどのように議論されているかを知る上で格好のテキストです。とはいえ、それはセミナーにおけるグループワークのためのたたき台に過ぎません。このテキストの輪読からスタートして、チューターとして参加する担当教員の専門を活かしたサポートを受けることで、受講生の皆さんには、ELSI についてさらに掘り下げて検討することが期待されます。</p> <p>教養セミナー I での議論やリサーチをさらに発展させて、3 年次の教養セミナー II では、各受講生が「教養卒業論文」を作成することになります。</p>			
授業の到達目標			

- ・ELSI とは何かを理解した上で、既存の科学技術の実例を挙げて、その倫理的・法的・社会的な問題を抽出できる
- ・信頼できる情報源から獲得した知識やデータを多角的な視点から適切に活用し、論理的に考えることで、ELSI についての自分の意見を形成できる
- ・テキストを正確に読み、分かりやすい発表ができ、さらに、ディスカッションのための問題提起ができる
- ・ディスカッションやリサーチなどのグループワークに積極的に参加できる
- ・様々な国や地域の歴史や文化を反映した多様な意見に配慮しつつ、ELSI についての解決策を具体的かつわかりやすい形でグループ発表できる
- ・レポートなどの課題を期日内に提出できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/10	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
3-4	5/8	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
5-6	6/5	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
7-8	7/3	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
9-10	9/25	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
11-12	10/23	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
13-14	11/20	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子
15-16	1/8	15:25-17:05		栗田 武, 柳下 和慶, 檜枝 光憲, 鶴田 潤, 猪熊 恵子, 澤野 頼子

授業方法

- ・テキストの輪読
- ・ELSI をテーマとするグループワーク
- ・グループワークの成果の発表

授業内容

第 1 回 イントロダクション

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート①(発表の担当者以外)

第 2 回 輪読(1)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート②(発表の担当者以外)

第 3 回 輪読(2)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート③(発表の担当者以外)

第 4 回 輪読(3)

まとめの課題・・・前期まとめレポート(全員)

第 5 回 発表のためのテーマ決め

次回への課題・・・小レポート④(全員)

第 6 回 テーマに関するリサーチ結果の発表

次回への課題・・・小レポート⑤(全員)

第 7 回 発表用のスライドの準備

次回への課題・・・小レポート⑥(全員)

第 8 回 発表会

成績評価の方法

- (1)小レポートの内容
- (2)前期まとめレポートの内容

<p>(3)積極的な授業参加 (4)輪読における個人の発表 (5)グループの発表 (6)発表会への積極的な参加(発表グループへの質問など) ※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など 追加の課題が課せられる ※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p>
<p>成績評価の基準 到達目標の達成度合いによる</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪読における発表の準備をすること ・指定されたテキストの範囲を読んでおくこと ・グループワークで出されたタスクを実施すること ・発表会に向けた準備をすること
<p>教科書 21 Lessons : 21 世紀の人類のための 21 の思考／Harari, Yuval N., 1976-,柴田, 裕之, 1959-,ユヴァル・ノア・ハラリ 著,柴田 裕之 訳:河出書房新社, 2021.11</p>
<p>他科目との関連 教養基礎セミナー、教養セミナー II</p>
<p>履修上の注意事項 担当教員との意思疎通をしっかりと行うこと</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp 鶴田 潤:turucie@tmd.ac.jp 柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp 木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp 檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 藤井 達夫:毎週月曜日 12:00--13:00(管理棟 2 階) 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階 栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2 徳永 伸一:前期: 火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) * いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにすることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。 鶴田 潤:訪問の事前にメールで連絡してください。 柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室 後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室 猪熊 恵子:水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室</p>

木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階

※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

檜枝 光憲:毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

時間割番号	004703		
科目名	教養セミナー I (C グループ)	科目 ID	
担当教員	藤井 達夫, 中林 潤, 奈良 雅之, 勝又 敏行, 猪熊 恵子, 中山 まどか, 澤野 頼子, 檜枝 光憲, 栗田 武, 辻 泰明[FUJII Tatsuo, NAKABAYASHI Junn, NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, INOKUMA KEIKO, NAKAYAMA Madoka, SAWANO YORIKO, HIEDA MITSUNORI, KURITA TAKESHI, TSUJI Yasuaki]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
<p>教養セミナー I は、専門課程の 2 年次に学科専攻混成の少人数セミナーで実施されます。指定されたテキストの輪読とグループワークによって ELSI について学びます。</p> <p>【コンピテンシー】</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p> <p>4-4) 情報についての基本技能を身につける</p> <p>5-1) ELSI を認知し、その重要性を理解する</p> <p>5-2) ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は、教養部の教育目標のうち、1.市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性、2.科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力、3.国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力という「3 つの力」を陶冶することにあります。そうすることで、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性を涵養し、自己問題提起・自己問題解決型の創造力豊かな人間、さらには国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成するという本学が掲げる教育理念の実現に寄与することが目指されます。</p> <p>これに向けて、教養セミナー I では、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)をテーマとして取り上げます。ELSI とは、新しい科学技術が倫理観や法制度、そして社会にもたらす課題や影響を意味します。受講生の皆さんには、「高度に発達した科学技術は私たちにどんな課題を与えているのか」、そして「その課題に対してどう向き合うのか」という現代を生きるすべての人びとに投げかけられている問いについて、しかも正解はなく、時に対立を招きかねない問いについて取り組んでもらいます。その取り組みでは、少人数セミナーにおいて ELSI をめぐる問題を自分たちで発見し、複数の視座から議論し、「科学的な」見地から独自の調査をしてもらいます。そして、そこから協働して解決策を模索します。</p> <p>ELSI をテーマにしたこのセミナーは、「輪読」、プレゼンテーションとディスカッション、さらにリサーチといったコミュニケーション主体のグループワークをとおして進められ、クラスごとにセミナーの成果を発表することで完結します。「輪読」とは、共通のテキストを全員で読み、意見を交わしながら理解を深めていく作業を意味します。そこでは、発表者が決められた範囲の内容を報告し、さらに、その内容に関して話し合いたい議題を提起します。発表者以外の受講生は、自分が読んで分からなかったことや発表者の報告に関して疑問に思ったことを質問したり、議題について自分の考えを述べたりします。</p> <p>今年度取り上げる共通テキストは、ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons—21 世紀の人類のための 21 の思考』です。これは「人新世 Anthropocene」と呼ばれる現在の世界で、ELSI がどのように議論されているかを知る上で格好のテキストです。とはいえ、それはセミナーにおけるグループワークのためのたたき台に過ぎません。このテキストの輪読からスタートして、チューターとして参加する担当教員の専門を活かしたサポートを受けることで、受講生の皆さんには、ELSI についてさらに掘り下げて検討することが期待されます。</p> <p>教養セミナー I での議論やリサーチをさらに発展させて、3 年次の教養セミナー II では、各受講生が「教養卒業論文」を作成することになります。</p>			
授業の到達目標			

- ・ELSI とは何かを理解した上で、既存の科学技術の実例を挙げて、その倫理的・法的・社会的な問題を抽出できる
- ・信頼できる情報源から獲得した知識やデータを多角的な視点から適切に活用し、論理的に考えることで、ELSI についての自分の意見を形成できる
- ・テキストを正確に読み、分かりやすい発表ができ、さらに、ディスカッションのための問題提起ができる
- ・ディスカッションやリサーチなどのグループワークに積極的に参加できる
- ・様々な国や地域の歴史や文化を反映した多様な意見に配慮しつつ、ELSI についての解決策を具体的かつわかりやすい形でグループ発表できる
- ・レポートなどの課題を期日内に提出できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	1/15	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
3-4	4/17	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
5-6	5/15	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
7-8	6/12	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
9-10	7/10	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
11-12	10/2	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
13-14	10/30	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子
15-16	11/27	15:25-17:05		中林 潤, 奈良 雅之, 猪熊 恵子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 澤野 頼子

授業方法

- ・テキストの輪読
- ・ELSI をテーマとするグループワーク
- ・グループワークの成果の発表

授業内容

第 1 回 イントロダクション

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート①(発表の担当者以外)

第 2 回 輪読(1)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート②(発表の担当者以外)

第 3 回 輪読(2)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート③(発表の担当者以外)

第 4 回 輪読(3)

まとめの課題・・・前期まとめレポート(全員)

第 5 回 発表のためのテーマ決め

次回への課題・・・小レポート④(全員)

第 6 回 テーマに関するリサーチ結果の発表

次回への課題・・・小レポート⑤(全員)

第 7 回 発表用のスライドの準備

次回への課題・・・小レポート⑥(全員)

第 8 回 発表会

成績評価の方法

- (1)小レポートの内容
- (2)前期まとめレポートの内容

<p>(3)積極的な授業参加 (4)輪読における個人の発表 (5)グループの発表 (6)発表会への積極的な参加(発表グループへの質問など) ※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など 追加の課題が課せられる ※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p>
<p>成績評価の基準 到達目標の達成度合いによる</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪読における発表の準備をすること ・指定されたテキストの範囲を読んでおくこと ・グループワークで出されたタスクを実施すること ・発表会に向けた準備をすること
<p>教科書 21 Lessons : 21 世紀の人類のための 21 の思考 / Harari, Yuval N., 1976-, 柴田, 裕之, 1959-, ユヴァル・ノア・ハラリ 著, 柴田裕之 訳: 河出書房新社, 2021.11</p>
<p>他科目との関連 教養基礎セミナー、教養セミナー II</p>
<p>履修上の注意事項 担当教員との意思疎通をしっかりと行うこと</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp 中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp 檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp 辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp 中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>藤井 達夫:毎週月曜日 12:00--13:00(管理棟 2 階) 中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階 栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室—2 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで)、毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 猪熊 恵子:水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室 檜枝 光憲:毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3 辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00 管理研究棟 2 階 中山 まどか:前期:火 12:20～13:00 後期:木 12:20～13:00 質問等随時メールで受け付けています。</p>

時間割番号	004704		
科目名	教養セミナー I (D グループ)	科目 ID	
担当教員	奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子, 畔柳 和代, BAO MIN, 勝又 敏行, 中山 まどか, 越野 和樹[NARA MASAYUKI, YAGISHITA KAZUYOSHI, NAKABAYASHI Junn, MATSUMOTO YUKIHISA, KITANI Makiko, KUROYANAGI KAZUYO, BAO Min, KATSUMATA TOSHIYUKI, NAKAYAMA Madoka, KOSHINO KAZUKI]		
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2
実務経験のある教員による授業			
<p>教養セミナー I は、専門課程の 2 年次に学科専攻混成の少人数セミナーで実施されます。指定されたテキストの輪読とグループワークによって ELSI について学びます。</p> <p>【コンピテンシー】</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p> <p>4-4) 情報についての基本技能を身につける</p> <p>5-1) ELSI を認知し、その重要性を理解する</p> <p>5-2) ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は、教養部の教育目標のうち、1.市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性、2.科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力、3.国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力という「3 つの力」を陶冶することにあります。そうすることで、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性を涵養し、自己問題提起・自己問題解決型の創造力豊かな人間、さらには国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成するという本学が掲げる教育理念の実現に寄与することが目指されます。</p> <p>これに向けて、教養セミナー I では、ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)をテーマとして取り上げます。ELSI とは、新しい科学技術が倫理観や法制度、そして社会にもたらす課題や影響を意味します。受講生の皆さんには、「高度に発達した科学技術は私たちにどんな課題を与えているのか」、そして「その課題に対してどう向き合うのか」という現代を生きるすべての人びとに投げかけられている問いについて、しかも正解はなく、時に対立を招きかねない問いについて取り組んでもらいます。その取り組みでは、少人数セミナーにおいて ELSI をめぐる問題を自分たちで発見し、複数の視座から議論し、「科学的な」見地から独自の調査をしてもらいます。そして、そこから協働して解決策を模索します。</p> <p>ELSI をテーマにしたこのセミナーは、「輪読」、プレゼンテーションとディスカッション、さらにリサーチといったコミュニケーション主体のグループワークをとおして進められ、クラスごとにセミナーの成果を発表することで完結します。「輪読」とは、共通のテキストを全員で読み、意見を交わしながら理解を深めていく作業を意味します。そこでは、発表者が決められた範囲の内容を報告し、さらに、その内容に関して話し合いたい議題を提起します。発表者以外の受講生は、自分が読んで分からなかったことや発表者の報告に関して疑問に思ったことを質問したり、議題について自分の考えを述べたりします。</p> <p>今年度取り上げる共通テキストは、ユヴァル・ノア・ハラリ『21 Lessons—21 世紀の人類のための 21 の思考』です。これは「人新世 Anthropocene」と呼ばれる現在の世界で、ELSI がどのように議論されているかを知る上で格好のテキストです。とはいえ、それはセミナーにおけるグループワークのためのたたき台に過ぎません。このテキストの輪読からスタートして、チューターとして参加する担当教員の専門を活かしたサポートを受けることで、受講生の皆さんには、ELSI についてさらに掘り下げて検討することが期待されます。</p> <p>教養セミナー I での議論やリサーチをさらに発展させて、3 年次の教養セミナー II では、各受講生が「教養卒業論文」を作成することになります。</p>			
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ELSI とは何かを理解した上で、既存の科学技術の実例を挙げて、その倫理的・法的・社会的な問題を抽出できる ・信頼できる情報源から獲得した知識やデータを多角的な視点から適切に活用し、論理的に考えることで、ELSI についての 			

自分の意見を形成できる

- ・テキストを正確に読み、分かりやすい発表ができ、さらに、ディスカッションのための問題提起ができる
- ・ディスカッションやリサーチなどのグループワークに積極的に参加できる
- ・様々な国や地域の歴史や文化を反映した多様な意見に配慮しつつ、ELSI についての解決策を具体的かつわかりやすい形でグループ発表できる
- ・レポートなどの課題を期限内に提出できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/24	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
3-4	5/22	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
5-6	6/19	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
7-8	7/17	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
9-10	10/9	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
11-12	11/6	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
13-14	12/4	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子
15-16	1/22	15:25-17:05		奈良 雅之, 柳下 和慶, 中林 潤, 松本 幸久, 木谷 真紀子

授業方法

- ・テキストの輪読
- ・ELSI をテーマとするグループワーク
- ・グループワークの成果の発表

授業内容

第 1 回 インTRODクシヨン

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート①(発表の担当者以外)

第 2 回 輪読(1)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート②(発表の担当者以外)

第 3 回 輪読(2)

次回への課題・・・輪読の発表の準備(発表の担当者)+小レポート③(発表の担当者以外)

第 4 回 輪読(3)

まとめの課題・・・前期まとめレポート(全員)

第 5 回 発表のためのテーマ決め

次回への課題・・・小レポート④(全員)

第 6 回 テーマに関するリサーチ結果の発表

次回への課題・・・小レポート⑤(全員)

第 7 回 発表用のスライドの準備

次回への課題・・・小レポート⑥(全員)

第 8 回 発表会

成績評価の方法

- (1)小レポートの内容
- (2)前期まとめレポートの内容
- (3)積極的な授業参加
- (4)輪読における個人の発表

<p>(5)グループの発表</p> <p>(6)発表会への積極的な参加(発表グループへの質問など)</p> <p>※出欠や遅刻等については学則に従うが、発表会を欠席した場合、レポートの提出など 追加の課題が課せられる</p> <p>※欠席した授業で課されたレポートについても、提出することを義務とする(小レポート は 5 回、前期まとめレポート 1 回を必ず提出すること)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>到達目標の達成度合いによる</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪読における発表の準備をすること ・指定されたテキストの範囲を読んでおくこと ・グループワークで出されたタスクを実施すること ・発表会に向けた準備をすること
<p>教科書</p> <p>21 Lessons : 21 世紀の人類のための 21 の思考 / Harari, Yuval N., 1976-, 柴田, 裕之, 1959-, ユヴァル・ノア・ハラリ 著, 柴田裕之 訳: 河出書房新社, 2021.11</p>
<p>他科目との関連</p> <p>教養基礎セミナー、教養セミナー II</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>担当教員との意思疎通をしっかりと行うこと</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp 木谷 真紀子:makiko.las@tmd.ac.jp 越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp 中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9</p> <p>奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで)、毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階</p> <p>畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室</p> <p>勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室</p> <p>柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室 後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室</p> <p>松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室</p> <p>BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室</p> <p>木谷 真紀子:月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階</p> <p>※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。</p> <p>越野 和樹:毎週火曜日 12:30-13:00 ヒポクラテス 4 階</p> <p>中山 まどか:前期: 火 12:20～13:00 後期: 木 12:20～13:00</p> <p>質問等随時メールで受け付けています。</p>

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

平成 16 年 4 月 1 日
規則 第 2 1 7 号

(趣旨)

第 1 条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目の編成)

第 2 条 全学共通科目における授業科目は、次の 4 系をもって編成する。

- 自由教育講義系
- 自由教育実習系
- 自由教育セミナー系
- 基礎教育系

(授業科目及び単位数)

第 3 条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表 1 に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(1 単位当たりの授業時間)

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間
- (2) 実験及び実習については、30 時間から 45 時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(履修届)

第 5 条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

(定期試験)

第 6 条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第 1 項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第 7 条 履修した授業科目の成績については、別表 2 により学習の評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、前条第 2 項に該当する授業科目のうち、第 1 項により難しい場合の学習の評価は、別表 3 により行う。

3 第 1 項及び第 2 項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 医学部保健衛生学科看護学専攻を除き、別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 医学部保健衛生学科看護学専攻においては、別表1(4)に定める単位をすべて修得しなければ、卒業することはできない。
- 5 医学部医学科及び歯学部歯学科においては、別表1(5)に定める単位をすべて修得しなければ、第6学年に進級することができない。
- 6 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 7 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 8 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
- 9 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 10 第8項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規則第11号）

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規則第40号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1、別表2及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第14号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年2月25日規則第3号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第12号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第72号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成29年3月31日規則第53号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年5月1日規則第31号）

この規則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和元年10月23日規則第108号）

この規則は、令和元年10月23日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年3月31日規則第138号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月31日規則第52号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者という。」）及び令和3年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の修得すべき単位数については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和4年10月11日規則第131号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者という。」）及び令和5年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の修得すべき単位数については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1

(1)第1学年

授業科目			修得すべき単位数					備考		
			医学部			歯学部				
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科			
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻		口腔保健工学専攻	
自由教育講義系	人文科学・社会科学	人文社会科学概論	2	2	2	2	2	2	必修科目	
		国際地域文化入門	2	2	2	2	2	2		
		哲学	6 (注2)	選択科目 1科目 2単位 3科目 以上を 選択						
		倫理学								
		心理学								
		宗教学								
		芸術								
		歴史学								
		民俗学								
		科学史								
		文学								
		法学								
		政治学								
		経済学								
		社会学								
		社会心理学								
		社会思想史								
		文化人類学								
	Japanese Culture and Society									
	グローバル教養科目(注1)									
	人文社会科学特論(注1)									
	フジカルウェルビーイング	フィジカルウェルビーイング	6 (注2)							
		フィットネスマネジメント								
	外国語	ドイツ語Ⅰ	6	6	6	6	6	6	6	
		ドイツ語Ⅱ								
		フランス語Ⅰ								
		フランス語Ⅱ								
		中国語Ⅰ								
中国語Ⅱ										
スペイン語Ⅰ										
スペイン語Ⅱ										
日本語Ⅰ(注5)										
日本語Ⅱ(注5)										
英語Ⅰ		6								6

								科目
自然科学	物理学入門	1 (注3)		1 (注3)	1 (注3)			選択 科目
	生物学入門							
	化学入門							
	数学Ⅰ	1		1	1			必修 科目
	物理学Ⅰ	1		1	1			
	数学Ⅱ	1 (注4)			1 (注4)			医学 科・歯 学科 は、選 択科 目。検 査技術 学専攻 は、必 修科 目。
	物理学Ⅱ			1				
	統計学		1	1		1	1	必修 科目
	化学	2		2	2			
	化学基礎		1			1	1	
	生物学	2		2	2			
	生物学基礎		2			2	2	
サイエンス PBL 入門	1.5			1.5				
自由 教育 実習 系	科学基礎実験		1	1		1	1	必修 科目
	自然科学実験	2			2			
系 自由 教育 セミナー	共通 領域	教養選択科目(注1)	1	1	1	1	1	必修 科目
		教養基礎セミナー	2	2	2	2	2	
基礎 教育 系	グローバル教養総合講座	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
	情報科学		1	1		1	1	
	情報処理	1			1			
第1学年 小計		33	26.5	31.5	33	26.5	26.5	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 3科目(6単位)のうち、人文科学・社会科学科目から1科目(2単位)以上、外国語科目から1科目(2単位)以上を選択する。
- 3 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 5 外国人留学生のみ履修できる。

(2)第2学年

授業科目			修得すべき単位数					備考	
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻		口腔保健工学専攻
ミナー系	自由教育セ	共通領域	1	1	1	1	1	必修科目	
第2学年 小計			1	1	1	1	1		

(3)第3学年

授業科目			修得すべき単位数					備考	
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻		口腔保健工学専攻
ミナー系	自由教育セ	共通領域	1	1	1	1	1	必修科目	
第3学年 小計			1	1	1	1	1		

(4)第4学年

授業科目			修得すべき単位数					備考	
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻		口腔保健工学専攻
ミナー系	自由教育セ	共通領域		1				必修科目	
第4学年 合計				1					
全学共通科目 合計			35	28.5	33.5	35	28.5	28.5	

(5)第5学年

授業科目			修得すべき単位数				備考
			医学部		歯学部		
			医学科		歯学科		

自由教育セミナー系	共通領域	教養セミナーⅢ	1	1	必修科目
第5学年 合計			1	1	
全学共通科目 合計			36	36	

(6)自由科目

授業科目			修得すべき単位数						備考
			医学部			歯学部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻	口腔保健工学専攻	
自由教育セミナー系	共通領域	教養自由セミナーⅠ	1	1	1	1	1	1	第4学年で履修する。ただし、看護学専攻は第3学年で履修する。
		教養自由セミナーⅡ	1			1			第6学年で履修する。
合計			2	1	1	2	1	1	

別表2

摘要	評価基準	評価	単位認定
第7条第1項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
	当該科目の到達目標を全て達成した	A	
	当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

	当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
	到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3

摘要	評価基準	評価	単位認定
第7条第2項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
	当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格